

朝日山一男先生が震災ボランティア活動を行われました

東日本大震災後、朝日山一男先生は（一社）神奈川県鍼灸マッサージ師会主催の震災ボランティア活動に従事され、震災の年は毎月、2年後からは年4回、鍼・マッサージボランティア活動を継続して行われています。今年度は6月15日（日）、9月28日（日）、12月14日（日）に宮城県亘理町および山元町の仮設住宅で活動を行われました。また、本学スポーツ医療学科の学生も過去6名参加し、被災された方々への支援がなされています。

現地の状況について、「集合住宅の建設が進んで来年の9月にはほとんどの被災者の方の仮設住宅からの移転が可能になる予定だそうです。いちご栽培も少しずつ進んでいますが、被災した土地は土の入れ替えが少しずつ進んでいるものの荒野の状況で、復興はかなり先になりそうです。」と話されていました。また、「被災された方々の考えも多様になり、簡単には進まない被災地の現状を垣間見ることが出来ました。参加された学生の皆さんも受付を行い、直接被災者の方の声を聴けたことや、仮設住宅、被災地を視察でき大変勉強になった。来てよかったとの感想が寄せられました。今後も引き続き支援をしていきたい。」と話されました。

学生の皆さんでご希望の方は是非お声をおかけくださいとのことでした。次回は3月29日に行われます。



仮設住宅集会場での施術



被災した中浜小学校 2回まで津波が屋上に、避難全員が助かる



家屋が流された現在の風景